

「JENESYS2.0」

2013年アジア国際子ども映画祭参加訪日団

訪問日程 平成25年11月26日（火）～12月4日（水）

1 プログラム概要

中国教育部が派遣した2013年アジア国際子ども映画祭参加訪日団計9名が、11月26日から12月4日までの8泊9日の日程で来日しました。

本事業は「JENESYS2.0」の一環として行われ、兵庫県南あわじ市で開催された「第7回アジア国際子ども映画祭」やフォーラム、学校交流をはじめとしたプログラムに参加したほか、「クールジャパン」をテーマに最先端技術の視察、伝統文化体験、地域見学等を行い、政治・歴史・文化・社会に関する包括的な対日理解を深めました。

2 日程

11月26日（火）

関西空港着、オリエンテーション

11月27日（水）

兵庫県南あわじ市へ移動、南あわじ市ウェルカムセレモニー、洲本城見学

11月28日（木）

伊弉諾神宮見学、柳学園中学・高等学校訪問・交流

11月29日（金）

淡路人形座人形浄瑠璃鑑賞、大鳴門橋記念館見学、うずしおクルーズ、交流会

11月30日（土）

「いじめ」フォーラム、第7回アジア国際子ども映画祭

12月1日（日）

神奈川県へ移動、大涌谷見学、和風温泉旅館で日本文化体験

12月2日（月）

独立行政法人海洋研究開発機構視察、商業施設見学、東京都へ移動

12月3日（火）

国会議事堂視察、杉並アニメーションミュージアム、浅草寺、江戸東京博物館見学
報告会、歓送会

12月4日（水）

羽田空港より帰国

3 写真

	
<p>11月27日 南あわじ市ウェルカムセレモニー (兵庫県)</p>	<p>11月27日 洲本城見学(兵庫県)</p>
<p>11月27日 南淡路市歓迎儀式(兵庫県)</p>	<p>11月27日 参観洲本城(兵庫県)</p>
	
<p>11月28日 伊弉諾神宮見学(兵庫県)</p>	<p>11月28日 柳学園中学・高等学校訪問・交流 (兵庫県)</p>
<p>11月28日 参観伊弉諾神宮(兵庫県)</p>	<p>11月28日 柳学園初中・高中 交流会(兵庫県)</p>
	
<p>11月28日 柳学園中学・高等学校訪問・交流 (兵庫県)</p>	<p>11月29日 淡路人形座人形浄瑠璃鑑賞(兵庫県)</p>
<p>11月28日 柳学園初中・高中 交流会(兵庫県)</p>	<p>11月29日 観賞淡路人偶座人偶浄瑠璃(兵庫県)</p>

	
<p>11月29日 うずしおクルーズで歌手・伍代夏子さんと記念撮影（兵庫県）</p>	<p>11月29日 16カ国・地域の青少年の交流会でパフォーマンスを披露（兵庫県）</p>
<p>11月29日 坐漩渦潮観光船与歌手・伍代夏子女士合影留念（兵庫県）</p>	<p>11月29日 16个国家与地区青少年参加的交流会 团员在表演节目（兵庫県）</p>
	
<p>11月30日 「いじめ」フォーラム（兵庫県）</p>	<p>11月30日 第7回アジア国際子ども映画祭（兵庫県）</p>
<p>11月30日 “以强欺弱”论坛（兵庫県）</p>	<p>11月30日 第7届亚洲国际儿童电影节（兵庫県）</p>
	
<p>12月1日 大涌谷で富士山を眺望（神奈川県）</p>	<p>12月2日（独）海洋研究開発機構視察（神奈川県）</p>
<p>12月1日 在大涌谷眺望富士山（神奈川県）</p>	<p>12月2日 考察（独）海洋研究开发机构（神奈川県）</p>

	
<p>12月3日 国会議事堂視察（東京都）</p>	<p>12月3日 杉並アニメーションミュージアム 見学（東京都）</p>
<p>12月3日 考察国会议事堂(東京都)</p>	<p>12月3日 参观杉并动漫博物馆（東京都）</p>
	
<p>12月3日 報告会 訪日の成果報告（東京都）</p>	
<p>9月27日 在报告会 汇报访日成果（東京都）</p>	

4 参加者の感想（抜粋）

○ 今回の活動に参加するまで来日したことがなかったので、日本について体系的な知識が全くなく、知っているのは日本の有名なアニメ、自動車、国際大都市の東京くらいで、日本人の勢いは創造力の豊かさゆえと思っていた。来日後、日本が振興した原因は、国民の素質、公務員達が責務を果たしていること、謙虚で礼儀が正しいことによるものだと分かった。

このような国を越えた、政治と関係ない学生同士の交流はとても重要だと思う。文化の違いを体験したり、お互いの長所を学び、短所を補うだけで、純粋に友情を育むことができる。

面と向かって交流をするとき、臆病になったり拒絶したりせず、明るく自分の本当の一面を表現すれば、大きな収穫があるはずだ。

○ 日本人が人と接する時の礼儀、謙虚さ、店員さんでも普通の人でも、人に対する態度は一般的教養があり、人と人の間にいつも譲り合いの気持ちを持っている。帰国後、私は決して周りの人にお辞儀を強要するつもりはない。表面的なことを超えて、このような礼儀の精神を取り入れて、中国の“礼儀の国”という精神を伝承していきたい。

日本人は仕事が丹念で、完璧を求める態度に感服した。毎日の日程は分単位の日程表に沿って厳格に実施され、急に変更がある場合、すぐ調整し改めていた。

日本の環境保護は進んでいる。国民の協力や支持があり、政府も大いに力を入れて、そのための条例を制定し、環境保護は早くから日本人の生活に少しずつ浸透し、人々も環境保護を意識した生活をしている。私たちも環境保護を習慣化し、潜在意識に働きかけ、民衆の意識を高め、その重要性を認識することが重要だと思う。

○ 今回の訪問で、最も印象深かったことは、日本人の国民性だ。日本人は皆、友好的で親切に接してくれた。それから、日本人や日本政府が子供たちに最新技術や各分野の知識を普及させるために行っている取り組みは素晴らしいと思った。帰国後、私が先頭に立って周りの人に挨拶をしていこうと思う。そうすれば友好的なイメージを伝えられるし、他の人に良い影響を与えられると思う。これをまず私の学校からやっていきたい。

○ 日本人はとても真面目で、友好的で、お客様に対しても親切でサービスも行き届いており、とても感動した。

映画は言葉と民族を越えた芸術の一つだ。今回参加したアジア国際子ども映画祭のように、出品された多くの作品は、現地の言葉を使い、環境も道具もすべて現地調達で行われ、その内容も現地の習慣に基づいて撮影されたが、私たちはすべて理解することができた。映画の中では、多言語を背景に、私たちは同じテーマを表現し、映画の外の世界では、異なる風俗習慣を背景に、私たちは皆生活している。これこそ映画の魅力と効果だと思う。映画は映像と音楽でストーリーを表現し、見る人がテーマを理解し、生きることを感じられるようにしている。だから、私たちは映画が、映画制作が大好きだ。